

復興に向けて

東北関東大震災 東北地方太平洋沖地震



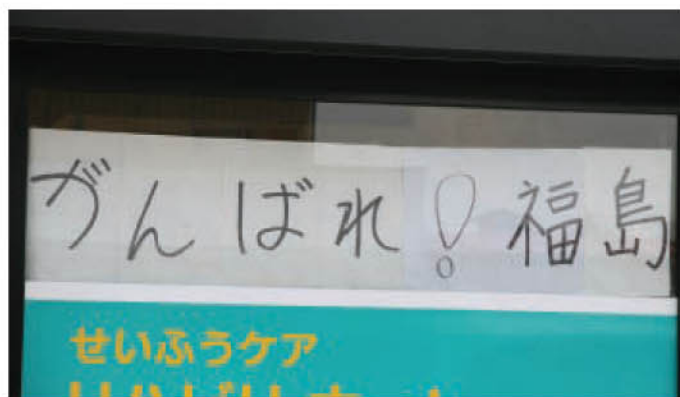
▲一小卒業式で使うはずだった花束



▲山と積み上げられた瓦礫が被害の大きさを物語る



▲陥没した駅切符売り場で皆さんの助けになればと営業を続けた店



▲震災に負けずがんばろうというメッセージに励まされる



▲多くの協力企業が復旧のため重機とともに奔走しました



▲カップ麺だけど、みんなで食べればごちそうと明るい笑顔

東北地方を襲った未曾有の大災害、その爪痕は鏡石町にも大きく影を落としていた。しかし、この甚大な被害の中でも笑顔で生活する皆さんがいた。

この笑顔がある限り町はまたいつか、元気になれると確信している。

(分析広報記者)

マグニチュード9.0、震度6強。これまで経験したことのない強く長い揺れを体験し、周囲を見渡して愕然とした。波打つ道路、倒壊した壁や家屋、崩落した崖。町内の全3,900世帯で、実に3割以上の家屋が被災していた。これは、浜通りの津波の被害を除けば、県内でも1、2の被害割合だ(広報発行時)。また、ライフライン、特に水道網が深刻なダメージを負い、未だに本復旧には至っていない。

被災後の町内の様子取材する中で、多くの町民の方が「この辺は大きい災害なんてないと思っていたのに」と話していた。

町としても、従前からこのような大災害に対して万全の体制であったかという点、疑問が残るのも事実である。



広報かがみいし4月号

発行/福島県鏡石町役場
〒969-0492 福島県岩瀬郡鏡石町不時沼345番地
電話/0248(62)2111(代表) URL/http://www.town.kagamiishi.fukushima.jp/
編集/総務課 印刷/トキワ印刷株式会社

この広報紙は適切に育まれた森から生まれたFSC認証紙を使っています。FSC認証紙は、適切に管理された森林の木材を原料としており、バランスの取れた「植林→育成→伐採→植林」のサイクルを通じて森林保全を行っています。

